

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2024年 第18週（4月29日～5月5日）

今週のコメント

～手足口病～ 手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病 今後の動向に注目」

第18週の発生動向について報告を行うにあたって、大型連休のための医療機関の診療実日数の減少を考慮する必要がある。

第18週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,857例であり、前週比36.9%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、手足口病、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.17、2.32、1.87、1.18、0.40である。

感染性胃腸炎は前週比44%減の618例で、大阪市北部4.21、北河内3.92、大阪市南部3.78、堺市3.63、三島・南河内3.56であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は42%減の452例で、堺市3.79、北河内3.72、大阪市南部3.39である。

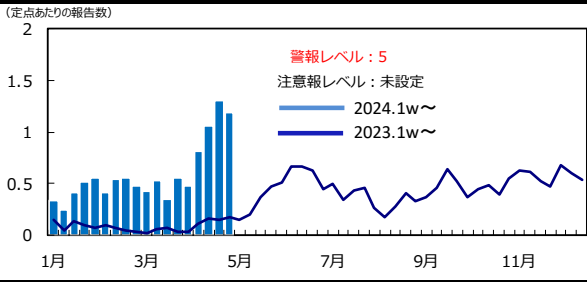
RSウイルス感染症は38%減の365例で、大阪市北部5.93、大阪市西部2.70、中河内2.32であった。

手足口病は9%減の231例で、大阪市北部2.36、南河内1.75、大阪市西部1.70である。

咽頭結膜熱は14%減の78例で、南河内1.19、中河内0.95、大阪市西部0.50であった。

新型コロナウイルス感染症は38%減の501例で、定点あたり報告数は1.65である。大阪市西部2.80、豊能・南河内2.42、北河内1.80、三島1.69であった。

手足口病



感染性胃腸炎

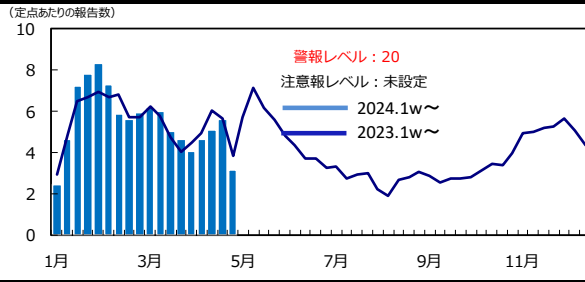


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第18週4月29日～5月5日）

第18週の順位	第17週の順位	感染症	2024年第18週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第18週の定点あたり報告数	2024年第18週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	3.17	44%減	3.86	1歳_12%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.32	42%減	0.79	4歳_14%
3	3	RSウイルス感染症	1.87	38%減	3.11	1歳未満_34%
4	4	手足口病	1.18	9%減	0.17	1歳_45%
5	6	咽頭結膜熱	0.40	14%減	0.32	1歳_33%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	1.65	38%減	-	10-19歳_16%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、

本文には詳細に記載していません。

第18週のコメント

～パラチフス～ 手洗いの徹底と、十分に加熱された飲食物を摂取することが重要である

全数把握感染症																																		
パラチフス																																		
<p>パラチフスはパラチフスA菌を起因病原体とする全身性の感染症であり、患者や保菌者の便と尿が感染源となる。</p> <p>通常、7～14日（報告によって3～60日）の潜伏期間を経て、発熱、頭痛、食欲不振及び全身倦怠感などの症状を発症する。また、39℃を超える高熱が1週間以上続き、比較的徐脈、バラ疹、脾腫、下痢などの症状を呈し、腸出血、腸穿孔が生じることがある。重症例では、意識障害や難聴が起きることもある。</p> <p>治療は、抗菌薬投与が効果的である。南アジアなどで、薬剤耐性菌も多く報告されている。5～10%の症例で再発がみられる。</p> <p>腸チフス・パラチフスとは（国立感染症研究所） 腸チフス・パラチフス（厚生労働省 検疫所）</p>	<h3>年別累積報告数</h3> <p>2024年は大阪府第18週時点(1例) 全国第17週時点(2例)</p> <table border="1"> <caption>年別累積報告数 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>大阪府累計</th> <th>全国累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2015</td><td>0</td><td>32</td></tr> <tr><td>2016</td><td>2</td><td>18</td></tr> <tr><td>2017</td><td>3</td><td>15</td></tr> <tr><td>2018</td><td>2</td><td>22</td></tr> <tr><td>2019</td><td>2</td><td>20</td></tr> <tr><td>2020</td><td>0</td><td>8</td></tr> <tr><td>2021</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>2022</td><td>0</td><td>10</td></tr> <tr><td>2023</td><td>0</td><td>9</td></tr> <tr><td>2024</td><td>1</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	年	大阪府累計	全国累計	2015	0	32	2016	2	18	2017	3	15	2018	2	22	2019	2	20	2020	0	8	2021	0	0	2022	0	10	2023	0	9	2024	1	3
年	大阪府累計	全国累計																																
2015	0	32																																
2016	2	18																																
2017	3	15																																
2018	2	22																																
2019	2	20																																
2020	0	8																																
2021	0	0																																
2022	0	10																																
2023	0	9																																
2024	1	3																																

表2. 大阪府全数報告数（2024年 第18週4月29日～5月5日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症 パラチフス	1								1	1
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	1	1							29
	レジオネラ症（ポンティアック熱型）	1				1				
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1							43
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	1	1						93
	梅毒	2		1					1	543

結核 (2024年3月分) 結核 新登録患者数：58名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 22名)
 (府内累積報告数 212名、内 肺・喀痰塗抹陽性 91名)

(2024年5月7日 集計分)